

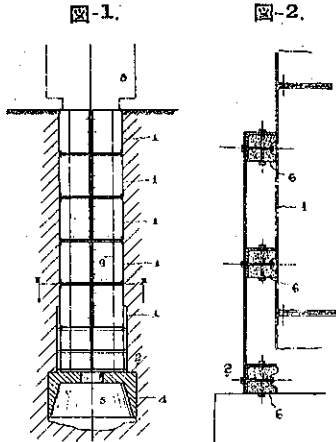
特許紹介

第23巻第5號 昭和12年5月

用氣潜函施工法

(特許第118673號 発明者(發明者) 梨川 巖
特許権者 森名平兵衛)

此の發明は、分割組立し得る中空潜函軀体(1)の多数とその軀体を收容するに足る長さとし、大さの内腔を有する1個の作業室用可動基礎体(2)とを使用するものであつて、先づ1個の軀体(1)の下方外面に上記の可動基礎体を氣密に摺動し得るやう(6)に取り付け、可動基礎体(2)の作業室内の工事が進捗するに従つてその基礎のみを摺動沈下せしめ、而して基礎体内の内腔が軀体の長さよりも大となるに及んで、新しき1個の軀体(1)を上方の固定軀体の下端に組立継足し、この様にして順次地中深く施工し、最後にコンクリート打を行ふ方法である。この方法は潜函を下方に継足し、作業室部分のみを摺動沈下せしむるを以て、潜函作業を簡單ならしめ且つ潜函周囲の地面に影響を及ぼす事が少い(図-1, 2)。



基礎体内の内腔が軀体の長さよりも大となるに及んで、新しき1個の軀体(1)を上方の固定軀体の下端に組立継足し、この様にして順次地中深く施工し、最後にコンクリート打を行ふ方法である。この方法は潜函を下方に継足し、作業室部分のみを摺動沈下せしむるを以て、潜函作業を簡單ならしめ且つ潜函周囲の地面に影響を及ぼす事が少い(図-1, 2)。

螺旋型基礎工

(特許第119079號 発明者(發明者) 藤本昌三)

此の發明は、非筒潜函其の他の基礎工外周に螺旋凸部(4)を附し、其の内周には反對螺旋(5)を附したものであつて、外用螺旋に依り非筒又は潜函の沈下を容易ならしめ、沈下後非筒内部に所要深き迄土砂を埋戻して内周の反對螺旋に依り基礎工の旋回を防止せんとするものである(図-3, 4)。

敷設せられたる枕木の緊締程度を測定する装置

(特許第119101號 発明者(發明者) 高木定吉
特許権者 森田天臣)

此の發明は、線路に敷設せられたる枕木を其の儘の状態に於てその緊締程度を簡易敏速且つ正確に測定して

図-3.

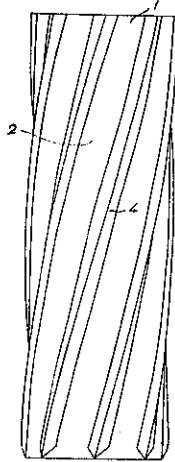
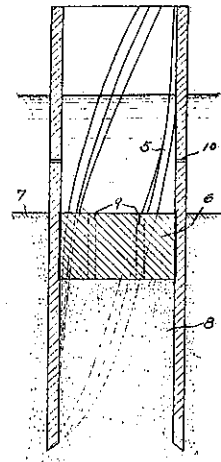


図-4.



線路保守状態の具体的比較をなし得る装置の考案に係る。

即ち枕木の一端に直立し得る支脚上に設けた目盛盤を具へる衡器機構と、彈機を介して該衡器機構の槓桿に連結支持せられた重錘とより成り、之と別に打撃装置に依り該枕木の他端に一定強度の打撃を加へ、之に依つて生じた振動を前記の衡器機構の槓桿を通じて指針に依り目盛盤に指示するやうにしたものである。

液体浄化方法の改良

(特許第119108號 発明者(發明者) せ、ドール、カムバー、インコーポレーテッド)

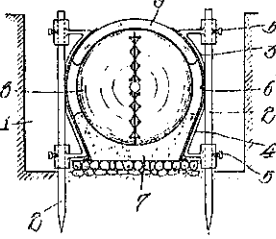
此の發明は、綿狀集塊生成制御方法の改良であつて、使用薬品の節約をなし、沈澱し易い一様な性質の綿狀集塊の生成によつて所要處理槽の大きさを小ならしめ、従て其の建設費等を低減せしめんとするものである。即ち綿狀集塊を含有せる液体は其の通路の上昇區劃中を上昇せしめられ其の上昇部分中に於て重力の作用に依つて懸浮綿狀集塊の上昇移動を遲滯せしめて前記の上昇區劃の下方部分に懸浮綿狀集塊の密集區域又は集塊幕を作り、更に此の集塊幕が静止して綿狀集塊が更に上昇移動することなからしむる爲、上昇區劃中の流れの方向に略直角なる如き攪拌作用を施し、以て不純物を綿狀集塊の形とした後之を沈澱せしむる方法である。

無接合コンクリート管施工法

(特許第 110321 號
特許權者 (發明者) 野崎富一)

此の發明は、外型となるべき鉄板 (6) を楔片 (3), (4) に依つて適當なる曲率半径に彎曲せしめ、最初其の底部にコンクリート管の下底部 (7) を構築し、液体圧力に依り作用する可換性芯型

図-5.



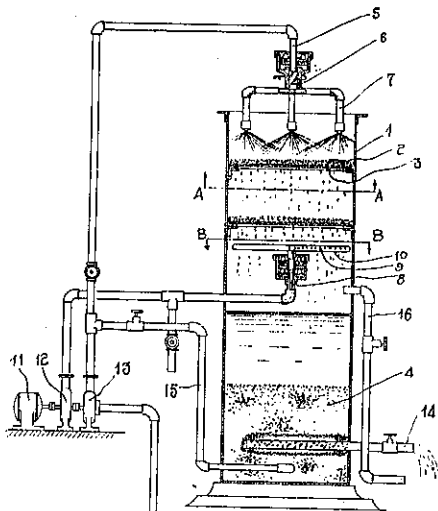
(8) を前記下底部の上に乗置き、之を円筒状に膨脹せしめ、其の上部と外型との間に間隔定規 (9) を置き、然る後にコンクリートを注入し、腹部及上部を塑造した後芯型を引抜き且つ定規を取外し、其の嵌合せし凹溝にコンクリートを充填し仕上を施す無接合コンクリート管の施工法であり、外型の着脱簡易にして楔片の使用に依り多少径の異なる管にも同一型板を使用し得る便がある (図-5)。

浄水装置

(特許第 110394 號 (發明者) 立川男一
特許權者 佐久間隆男)

此の發明は図-6 に見る如く、濾過槽 (1) の上部に一段又は上下數段に横設した金網 (3) 上に熔岩碎石及砂を薄く敷きたる酸化層 (2) を形成し、該酸化槽の上方に數多の噴霧口を downward に設けた管を放射状に配置し其の中央に挿入した送水管 (5) を中心として廻轉するやうに吊設したる回轉噴霧器 (7) を設け、其の噴霧器は其の中

図-6.



央に連設したる雌螺子筒 (6) の抵抗の爲、水の流通する勢によつて自動的に回轉し被淨化水を噴出するやうにし、酸化槽の下方で濾過槽 (4) の上方に各同一側面に多數の噴霧口 (9) を穿つた管 (10) を多數放射状に配置し、其の中央に挿入した送水管 (8) を中心として送入空氣の噴射反動力により自動的に回轉するやうにした空氣噴出管を設置したもので被淨化水を打碎きて極めて微細粒として空氣接觸の機會を多からしめる効果がある。

道路構築結合劑

(特許第 110340 號
特許權者 イ、ダ、フアルベンインヅストリー、アクチエンゲゼルシャフト)

此の發明は、鹽素を以て處理せられたポリヴィニールクロリドを 10 分の數 % 含有する道路用タールより成る道路構築結合劑であり、之に依り從來のものに比し耐水性を著しく増大せしめんとするものである。

河川堤防内防水羽金土の構造法

(特許第 110404 號 (發明者) 坂田勝郎、奈良原健雄
特許權者 日本ビテュエマルス株式会社)

此の發明は、粘土、土壤或は砂質交り粘土又は粘結力を有せざる土壤の 1 種又は 2 種以上を主体とする材料にアスファルト乳劑を混入して得た此等の混合材料を以て河川の堤防或は堰堤内の羽金土として使用する構造法であり、防水力及耐圧力の大なるを期したものである。

(附) 登録實用新案

地中に形成せらるゝ基礎杭施工用套管沈下装置

(第 233810 號 公告 11 年第 13044 號
實用新案權者 コンパニー、インテルナシヨナル、
ソ、ゼウーザルメアクシネボナル、
ソシエテ、アノニム)

地中に形成せらるゝ基礎杭施工用套管の沈下用並に引抜用機械

(第 233811 號 公告 11 年第 13044 號
實用新案權者 同上)

鉄欠板

(第 233804 號 公告 11 年第 13138 號
實用新案權者 東洋一行)

コンクリート杭

(第 233856 號 公告 11 年第 13437 號
實用新案權者 岡田幸五郎)

地質調査用錐棒把握装置

(第 234010 號 公告 11 年第 14513 號
實用新案權者 鐵道大臣)

水準測量用照尺の臺

(第 234018 號 公告 11 年第 15201 號
實用新案權者 前川義行)

コンクリート振動筒

(第 234079 號 公告 11 年第 15003 號
實用新案權者 玉川榮一)

電動コンクリート強化機

(第 234114 號 公告 11 年第 13680 號
實用新案權者 藤澤徳太郎)

水道管接続装置

(第 234105 號 公告 11 年第 14063 號
實用新案權者 大同コンクリート工業株式会社)

コンクリート埋築用外管の浸水防止装置

(第 234095 號 公告 11 年第 14508 號
實用新案權者 合資会社 大洋組)

法面被覆又は根固用中抜金網籠

(第 234095 號 公告 11 年第 14396 號
實用新案權者 川崎寛正)

不凍水栓

(第 234740 號 公告 11 年第 15588 號
實用新案權者 長坂一正)

(吉藤幸朝)